

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 英語コミュニケーション I ナンバリング：1012		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：後藤範子 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ 1. 基礎的な英語で、相手とコミュニケーションができるスキルを身につけることができる。 2. 保育士 / 幼稚園教諭としてのコミュニケーションに必要な「共感力」や「自己発露能力」を身につけることができる。			
授業の概要 授業は、講義形式と演習形式で構成されている。講義形式の授業では、文法事項、重要語句の解説に加え、ロールプレイやカードゲーム、英語の歌等を取り入れて定着を図る。演習形式の授業では、構内施設設立の「思い」を英語によって調査し発表することにより、英語力向上及び、保育者としてのマインド育成に寄与する。			
授業計画 第1回：オリエンテーション・「コミュニケーションとは?①」 第2回：「コミュニケーションとは?②」 テキスト『英語で学ぶ オフィスコミュニケーション』 Greeting a visitor 来客受付 第3回：Making a visitor comfortable 来客案内 第4回：Receiving incoming calls 電話を受ける 演習 埼玉純真短期大学の「思い」を理解しよう 榎裕明 第5回：演習 埼玉純真短期大学の「思い」を理解しよう 調査準備 第6回：演習 埼玉純真短期大学の「思い」を理解しよう 発表準備 第7回：演習 埼玉純真短期大学の「思い」を理解しよう 発表準備 第8回：演習 埼玉純真短期大学の「思い」を理解しよう 発表 第9回：テキスト Making outgoing calls 電話をかける 第10回： Making a reservation 予約をする 第11回： Giving messages 伝言を知らせる 第12回： Scheduling スケジュール管理 第13回：園庭の遊具の英語の名前を知ろう 第14回：道案内の仕方・英語の歌（帯活動）の復習 第15回：テキストの復習 定期試験：筆記試験		事前・事後学習 (授業時間外学習 1時間以上) ・授業前は、1時間程度の予習が必要である。各Unitの英文の音声を繰り返し聞き英文を音読し、わからない単語を調べておくこと。 ・授業後は、1時間程度の復習が必要である。各Unitの講義内容を復習すること。また、英文の聞き取りと、音読を行うこと。各課ごとの小テストに十分に備えること。	
授業の方法 学生の主体的活動を重視する。授業外での準備や、事前学習が重要である。帯活動として英語の歌を扱う。			
テキスト：『英語で学ぶ オフィスコミュニケーション』藤田利久他 西文社& 配布プリント			
参考書・参考資料等 適宜指示する。			
学生に対する評価 小テストの成績(30%)、定期試験の成績(40%)、授業参画度(30%)を総合的に判断して評価。			
履修上の注意 指定テキスト、辞書を毎回持ってくる。授業前にテキストの英文の音声を繰り返し聴き、授業では言語活動に積極的に・主体的に参加すること。			
実務経験の有無	有	実務経験	元高等学校外国語科教諭
実務経験を活かした教育内容 外国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、英語力の向上を図る。			